**èVinoエヴィーノ　≪新入荷のご案内 6月≫** 6.2023

≪お取引先各位≫

日頃より格別のご愛顧、心より感謝しております。

6月の新入荷をご紹介させていただきます。毎年皆さんに忘れられていないか心配です、**Colle San Massimoコッレ サン マッシモ**。遅くなりましたが、変わらず癒しの味わいで入荷いたしました！**Le Costeレ コステ**からは、今年リリースのビアンコなどのワイン以外にも、白いんげん豆が再入荷！また今回初挑戦の小麦粉も実験的に販売させていただきます！！トスカーナの良心**Podere Luisaポデーレ ルイーザ**からはやっとキァンティが到着しました！ペンスィエロやオイルもあわせて入荷です。そして、モンテプルチアーノの変わらない味わい**Fanettiファネッティ**からはビアンコ＆ロッソの新しいロットが入荷、そして今まで今回オリーヴオイルも初入荷です！

★**少量入荷ワイン** ご注文締切**～6/15(木) 12:00 ※締め切り後リクエスト数が上回った場合、数量を調整させていただきます。**

**6/16(金)** 頃より出荷 **※分散出荷を行うため、納品日指定に合わせられない場合があります。**

現在取り扱い倉庫より、1日あたり出荷制限が設けられております。出荷の集中を避けるため、分散出荷を取り入れさせていただきます。

**Colle San Massimo**  コッレ サン マッシモ  アブルッツォーテラーモージュリアノーヴァ

モンテプルチアーノの偉大なる大地、自家消費用の菜園とオリーヴの畑と僅か0.8haのブドウ畑。祖母より受け継いだこの土地を誰よりも愛し、まるで趣味のようにじっくりと時間をかけ、畑仕事とワイン造りを行うエンリーコ ガッリナーロ。ブドウの収穫はもちろんですが、剪定から除葉、畑に植わるブドウ樹のすべてを自らの手で行いたいという強い意思、偉大なる土地のポテンシャルを感じつつも、彼の温厚な人柄をダイレクトに感じるコッレ サン マッシモのワイン。いつも欠品でリストに残ることがほとんどない、エヴィーノでも希少な造り手の一人です、、汗。今年も各キュヴェ無事に到着しております！一部のワインは少なすぎてご案内できないものもありますが、地域的にチェラスオーロ ダブルッツォ、モンテプルチアーノ ダブルッツォに当たる「Meno Rossoメーノロッソ」、「Rosso ロッソ」をご紹介させていただきます。

**★Meno Rosso21メーノ ロッソ ≪新ヴィンテージ≫**

(meno=色が少ない)という意味合いのロゼ、土地の言い方であればチェラスオーロ ダブルッツォ、2021ヴィンテージが到着です。2021は天候に恵まれた素晴らしいヴィンテージ。完熟した果実はもちろん、酸も全く失っていないため、素晴らしいバランス感！昨年以上に素晴らしい飲み心地を感じます。「一人でワイン造りを始めて15年ほど経つけれど、ようやくチェラスオーロの造り方が分かってきた」そう語るエンリーコ。「ちょっと時間かかり過ぎじゃ!?」、なんて思われるかもしれませんが、単純な醸造方法という意味ではなく、彼の畑で収穫されるブドウの性格と、それに適したアプローチ、毎年の気候の違いも経験したうえで、エンリーコ自身が納得できるチェラスオーロができるようになった。そういう意味なのだと思います。

まさにその言葉通り、これまでのメーノ ロッソとはがらりと雰囲気が変わり、明らかにサイズが違うワインとなりました。今までのメーノ ロッソが、「優しく心地よい、寄り添う味わい」だとするならば、2021は、そこに明確に「土地の偉大さ」を加えたワインだと感じました。DOCはありませんが、間違いなく偉大なチェラスオーロ ダブルッツォの輪郭を備えたワインになったと直感する味わいです！

**★Rosso20ロッソ ≪新ヴィンテージ≫**

シンプルな名前ですが中身はモンテプルチアーノ ダブルッツォ。DOCを申請していないため名乗っておりません。2020は気候のバランスが良く、果実と酸の均整がとれた魅力的なヴィンテージ。果実の密度、酸、甘味を感じるタンニンと、素晴らしすぎる飲み心地。体格の良いモンテプルチアーノでありながら、全く重さや強さを感じない親しみやすさを持った赤。モンテプルチアーノという、ブドウのポテンシャルをストレートに感じつつも、決して気張らない柔らかい果実味。土地の力強さや液体の濃さ、存在感に疲れを感じることなく、スムーズで癒し溢れる飲み心地。このワインにはエンリーコ自身の穏やかさ、優しさに溢れていると直感できる味わいです！

**Le Coste**レ コステ ラツィオーヴィテルボーグラードリ

強すぎる自己主張と、傍若無人ぶりはおそらくイタリアNO1だと感じております、、。いろいろな意味で唯一無二の造り手Le Costeレ コステ(笑)！しかし、ワインを飲むといつも納得させられてしまう、、口だけではない決意と行動力、結果を出し続けるジャンマルコ。今年リリースとなるビアンコ2021ヴィンテージをはじめ、入荷しましたキュヴェの一部をリリースさせていただきます！また、昨年より始まりました白いんげん豆も少量ながら再入荷！そして今年は新たに小麦粉を製造したレ コステ！白いんげん豆の輪作として、古代小麦の栽培、収穫、石臼挽きで製粉した小麦粉。実験的な入荷量ですが合わせてご紹介させていただきます！

**Bianco 21 ビアンコ 750ml &** ★**1500ml** ≪新ヴィンテージ≫

2021年は冬の水不足から始まり、春から初夏にかけて非常に乾燥した気候が続きました、「その時点では2021はあまりよくないヴィンテージになると想像していた」、そう語るジャンマルコ。8月に入ってから続いた雨によって、ブドウ樹に不足していた水分が補われたことで、急激に果実の熟成が始まったといいます。病気の被害も少なく、気温差による酸と均整の取れた果実を持ち、フェノールの熟成も素晴らしいヴィンテージになりました。

非常にポテンシャルを持ったブドウという事もあり、果皮と共に約2週間の醗酵を行ったビアンコ。完熟した果皮の香りはあるものの、決して固いと感じるわけではない、いつも以上の飲み心地。特に21は醸造的なニュアンスよりも、果実的な香りや味わいを強く感じます。ワイン全体に感じる清潔さ、最近のビアンコのクオリティには本当に驚かされてばかりですが、本当に複雑さと繊細さを持ち合わせた、素晴らしい飲み心地となりました！

★**SOS Lago Bianco 20エスオーエス ラーゴ ビアンコ** ≪新ヴィンテージ≫

地元グラードリの町の隣にある「Lago di Bolsena ボルセーナ湖」、活火山の上にある湖という事もあり、数年前より地熱発電所の建設計画が進んでおりました。一般的に考えれば、大地の熱を利用して発電する、いわゆる「再生可能エネルギー」として注目されている地熱発電ですが、それは必ずしも自然を守るとは言い切れないといいます。「建設のために大量の重機、建設資材の持ち込み、工事に伴う大気や水の汚染。そして地中深くに水を送るため1000m以上深い掘削は、地下水脈が複雑に張り巡らされた岩盤を破壊し、地下水の流れを変え、時には止めてしまう事にもなる。火山性土壌は一般的な体積土壌よりもより複雑で繊細に入り組んでいるため、この建設が与える環境被害は人知の及ぶものではない。」、こうした声によって、周辺地域で発電所の建設反対運動が始まりました。この運動に協力するため、ジャンマルコとクレメンティーヌが手掛けたこのワイン。2021年に1度リリースさせていただいたワインではありますが、今回新しいヴィンテージがリリースされました。

前回リリースの後、反対運動の成果もあり開発計画は現在中断されているという話ですが、完全に中止になった訳ではなく、いつ再開されてもおかしくない状況だというジャンマルコ。イタリアのみならず、EU全体から建設に向けた支援も出ているらしく、計画が白紙になるにはまだ多くの問題があるといいます。レ コステとして、開発計画が完全に中止になるまで協力を続けていくと語る2人。**今回もワインの利益は、地熱発電所の反対運動への支援金として寄付される予定です。**

ブドウは建設予定地にあたるボルセーナ湖畔、モンテフィアスコーネの畑より譲り受けたモスカート ジャッロ。2回目となる今回はビアンコのみになります。ジャンマルコとクレメンティーヌのメッセージ、「このボルセーナの土地、自然環境を子供たちへ、さらにその先の世代へ残すために伝えたい」、そのための活動となります。モスカートジャッロのアロマティック＆トロピカルな特徴を、最大限に表現した醸造方法。前回以上のフルーツの広がりと、やや揮発酸も感じる飲み心地。この危うさとフレッシュさのバランス感、どうにも癖になってしまう味わい、、汗。ある意味、ジャンマルコの本領発揮ともいえるようなジューシー＆スムーズな1本です！今回は輸送コスト、為替もろもろに加え、反対運動の寄付金という事も加味されているため、だいぶ割高になってしまいましたが、、。どうか皆様、ご協力よろしくお願いいたします！

**Rosso di Gaetano21 ロッソ ディ ガエターノ ≪新ヴィンテージ≫**

ご近所さんであるガエターノの畑から、収穫したブドウで造られていた赤。2020が完売となりましたので、新しいヴィンテージをリリースさせていただきます！残念ながら、ガエターノは高齢のため畑を手放してしまい、彼のブドウは使えなくなってしまいました、、悲。しかしジャンマルコは、「彼への感謝と敬意として、これからもこのキュヴェを造り続ける」、と話していました。普段は自己中心的なジャンマルコですが(笑)、ガエターノへの敬意は今も変わりません。

話はワインに戻りまして、、。2021年は非常に乾燥したものの、水不足には陥らず理想的な収穫となったヴィンテージ。2021はブドウの凝縮感を強く感じる味わい。果皮が成熟し色調も強く、果実とタンニンがつまりつつも、飲む時の心地よさを忘れないガエターノ。抜栓して時間が経った方が、開いて柔らかさや飲み心地が良くなっていきます。レ コステの赤で「時間が経って」、と言っても皆さん信用してもらえないかもしれませんが、、（汗）。近年のレ コステの赤は、それほどキレイで安定感がある事を、ぜひこの機会に体感していただきたいワインです！

**★Fagioli del Purgatorio ファジョーリ デル プルガトーリオ ≪再入荷・白いんげん豆≫**

昨年入荷しました白いんげん豆ですが、現地に残っていたプルガトーリオのみ再入荷となります！

 2003年にフランスから戻り、このヴィテルボに移り住んだジャンマルコとクレメンティーヌ。当時はまだ残っていた伝統的な農業や養鶏、チーズ作り。それがこの20年でゆっくりと、でも確実に失われつつあります。「自分たちがワインを造っているだけでは守れない、このヴィテルボに存在する固有種や農作物が徐々に消えてゆくことで、食文化も衰退してゆく。このまま何もしなければ、ただ消えてゆくだけの土地の伝統や食文化を、少しでも次の時代（世代）に残す事、これは自分達の使命だと思っている。」 こうした想いから始まった、新しい活動の第1弾であるファジョーリ（白いんげん豆）の生産。畑での作業はブドウ畑と全く同じコンセプト。すべて手作業で行い、当然ながら化学的な肥料や農薬は一切使用せず、長期間の天日乾燥にて作られる白いんげん豆。粒の小さいプルガトーリオはグラードリの伝統品種、皮が薄く柔らかいのが特徴。浸水せず弱火でじっくり煮るだけ！とても使いやすく、豆の持つ旨味が非常に強いのが特徴です。そして一番驚くのは、豆の煮汁が素晴らしく美味しい、、、。今回も量的には少ないですが、ぜひお召し上がりいただきたいと思っております！

**★Farina integrale di grano tenero Verna ファリーナ インテグラーレ ディ グラーノ テネーロ ヴェルナ ≪新アイテム・小麦粉≫**

そして今回、第2弾として登場したのはなんと小麦粉！有機栽培を行う上で、輪作（続けて同じ作物を植えず、作物を年ごとに変えて栽培する事）をしなければいけない事もあり、白いんげん豆の収穫が終わった畑で、トスカーナ南部の伝統的な古代小麦（Grano Tenero Vernaヴェルナ種）。品種としては軟質小麦にあたりますが、含有タンパク質は強力粉と同等です。しかしグルテンの含有量が少なく、独特の香味と味わい深さが特徴です。このヴェルナ種を、伝統的な石臼挽にて製粉した全粒粉となります。

エヴィーノとしても小麦粉の輸入は初めてでして、、汗。初回は実験的な輸入となります。ただ、今後は原料の小麦粉としてではなく、乾燥パスタに加工したものがメインになるという事です。タンパク質の総量としては強力粉～中力粉に当たり、製パンなどにも向いていると思いますが、粉の味わいが一番ダイレクトに出るのは、やはり手打ちパスタでしょうか!?個人的にも何度か試作させていただきましたが、シンプルな調理法でも、十分に生地（小麦）の味わい、香りが感じられる、シンプルに美味しいと感じました！ただ、調理や使い方は皆さん次第という事もあり、何とも申せませんが。もしよかったらぜひ一度お試しいただきたいと思います！あと、小麦粉としての入荷は、おそらく最初で最後となりますので（手続きが本当に大変でした、、泣）、ご興味ある方はぜひともよろしくお願いいたします！

**Podere Luisaポデーレ ルイーザ**  トスカーナーアレッツォーモンテヴァルキ

**** イタリアを代表するワインの銘醸地、「Chiantiキァンティ」にて、父より受け継いだブドウ畑と小さなカンティーナ。「コンタディーノの暮らしを現代にも」、農業とワイン造りを守ろうというポデーレ ルイーザ。元肉屋という肩書きの当主サウロ、自ら仕留めたシカやイノシシで作る、伝統のサラミやプロシュート クルードに間違いなく合うトスカーナロッソ。「最強の食中酒」と言っても過言ではないルイーザのワイン。諸々の事情でコンテナが大幅に遅れてしまい、長い事欠品とさせてしまいましたが、ようやく赤が入荷いたしました！

**“Pensiero”2020 &2021 IGT “ペンスィエロ” トスカーナ ロッソ 750ｍｌ ＆3000ml BIB** **≪新ヴィンテージ≫**

サウロの誠実な仕事は、キァンティというワインが本来持っていた、「食中酒」という存在意義を再確認させてくれるような、飾らない素朴さと飽きの来ない飲み心地を持ったワイン。2020年のコロナ渦、地元消費用の量り売りワインが大量に余ってしまい、この事態を打開するために生まれたペンスィエロ。今年もようやく到着いたしました！

現地に残っていた2020はBIBに、新しい2021をすべて750mlと分けてボトル詰め。2020は天候にも恵まれた理想的なヴィンテージという事もあり、果実と酸のバランスの良い魅力的な味わい。熟成も進みましたがBIBらしいフレッシュさも生きています。それに比べ2021は収穫量が少なかったもの、ブドウの凝縮度と酸が共存したポテンシャルのあるヴィンテージ。基本果実味がしっかり、タンニンもあるものの軽やかで心地よく、非常にスムーズな飲み心地！間違いのない食中酒だと思います！どちらも甲乙つけがたい味わい。シチュエーションに合わせてお選びいただけるとありがたいです！

**Chianti 2020 DOCGキァンティ ≪新ヴィンテージ≫**

ルイーザの造るキァンティは、いわゆる「現代的なキァンティ」ではなく、土地の地酒であり食中酒としてのキァンティだと、常日頃感じております。飾りっ気はありませんが、心地よい酸とタンニンによって、食欲をかき立てられる赤。それがサウロの求めているこの土地のキァンティ。1970年代の手法である「除梗しないワイン造り」を行う上で、梗のネガティヴさがワインに感じないため、果実のみならず果梗まで完全に熟成してから収穫するストイックさ！地域的にはカジュアルなワインが多い産地でありながら、彼らのサンジョヴェーゼの収穫はとび抜けて遅く、、。10月後半～11月に入ることも少なくありません、、汗。それほどまでに素材（ブドウ）質の高さが確立されたキァンティ。

前回2019年は、私の手違いで極僅かしか入荷しなかったため、だいぶ長く欠品させてしまいましたが、今回2020は天候に恵まれ「質も量も過去最高」と名高いヴィンテージ。十分すぎる量が届いております、、焦。ブドウの果皮が完熟することで生まれる、官能的な香りはもちろん、フレッシュさと軽やかさ、そして最後に舌を引き締めるタンニンと心地よい酸。飲むだけでお腹が鳴ってしまうような、まさに食欲が湧いてくるワイン。これこそ本当の「キァンティらしさ」と言えるのではないでしょうか。お恥ずかしながら今回はまだ到着して日が浅く、若干落ち着きのなさを感じる部分もありますが、抜栓して時間が経つほど、本領発揮してくれる。素晴らしい味わいです！

**Castelperso 2018 IGT Toscana カステルペルソ ≪新ヴィンテージ≫**

彼らが持つ畑の中でも、最も古い樹齢70年を越えるサンジョヴェーゼの畑。この区画のブドウからさらに選抜して造られる、キァンティとはっ別角度でサンジョヴェーゼの魅力を追求したワイン。樹齢が古いことで樹自体のバランス感が保たれており、そして結実するブドウの量は必然的に少なくなる。素晴らしい凝縮はもちろん、、糖度と酸、ミネラルのバランスの取れた最高のサンジョヴェーゼ。キァンティが、ストレートに果実、力強さ、骨組み」を伝えるものだとしたら、カステルペルソは「柔らかさ、香りの繊細さ、ヴォリューム」を表現したものだと考えるサウロ。

2018は天候不良もそうですが、諸々の事情のためほとんどのワインをボトル詰めしなかった年。それもあり、厳選しきったサンジョヴェーゼだけで極僅かに醸造＆ボトル詰め、という希少なワインでもあります。雨が多く難しいヴィンテージではありましたが、例年以上に収穫を遅らせ、梗まで完璧に熟成したサンジョヴェーゼからの繊細さと香りの深さ。食事との相性を求めるキァンティとは違う、熟成による柔らかさや香り高さ、女性的な印象を持ったカステルペルソ。非常に魅力的な仕上がりとなっております！

**EXV Olive Oil 2022エクストラヴァージン オリーヴオイル≪新ヴィンテージ≫ （500ml＆ 1000ml）**

オリーヴオイルも合わせて入荷しております。2022は5月～9月まで全く雨が降らず、オリーヴの実が乾燥してしまうほどだったと嘆くサウロ。前回の2021に続き収穫量が激減したヴィンテージです。オイルの質は素晴らしいですが、量が少ないのが非常に残念です、、。トスカーナらしい辛みとスパイス感に、今年は特に旨味を強く感じます。そして何より、ワインだけでなくオイルの価格も非常に良心的なポデーレ ルイーザ！ニュートラルで癖のない味わいは、家庭料理でたっぷりと使っていただけると嬉しいです！

**Fanetti**ファネッティ ※一部先行出荷 **6/5より**  トスカーナーシエナーモンテプルチアーノ

町の名前でもあり、イタリアを代表するワイン「ヴィーノ ノービレ ディ モンテプルチアーノ」。このワインの創始者の一族である造り手ファネッティ。歴史と伝統を持つワイナリーは数多く存在しますが、近代的な醸造設備を使わず、100年前と変わらないワイン造りを続けているのは、恐らく他には存在しないのではないでしょうか？

****今回はビアンコ＆ロッソの新しいロットが入荷しました！そして今回初入荷となるEXVオリーヴオイルも到着しております！

**Bianco S’Agnese & Rosso Fanetti ビアンコ サンタニェーゼ ＆ ロッソ ファネッティ ≪新ロット・価格変更≫ ※6/5～**

1915年にエリザベッタの祖父、アダモが造っていたテーブルワインを、一切の変化なく造り続けているビアンコとロッソ。エリザベッタ曰く、「もう100年以上経って、当時とは気候も気温もだいぶ変わってしまったけれど、畑とカンティーナの仕事は、何一つ変えてないの。私はお祖父と父の築き上げてきたものを忠実に守り続けるだけ」、そう話していたエリザベッタ。

この2つのワインは単一ヴィンテージではありますが、基本的にヴィンテージは表記しておりません。一応、今回入港分より白が2022の収穫、赤は2020年に収穫したブドウとなります。味わいについてはもう言わずもがなではありますが、今回輸送コストの値上がりと、為替の影響を受け値上げとさせていただきました。しかしながら、それでも価格以上の味わいと飲みごたえを持った、トスカーナのテーブルワインだと思います！

**EXV Olive Oil 2022エクストラヴァージン オリーヴオイル ≪新アイテム≫ （250ml ＆ 500ml）**

そして今回、実は初めての輸入となる彼らのオリーヴオイルが入荷いたしました。実はブドウ畑よりも広大なオリーヴ畑を持っているファネッティ。基本的にほとんど地元消費で消えてしまうので、これまで輸入という話がありませんでした、、汗。

今回は2022年の収穫、品種はレッチーノとモライオーロが中心で樹齢は40年を越える樹が多く、収穫量は1本で僅か10Kg。そこから１Lの搾油量という少なさ。トスカーナのオイルらしい香り高さと軽やかさ、バランスの良い苦みと辛みのしっかりしたオリーヴオイル。地元ではワイン以上に人気だと笑うエリザベッタ。標高の高いモンテプルチアーノらしい酸と繊細さを持ったトスカーナのオイルは、調味料としても魅力的。そして何よりワインと同じく、素晴らしいコストパフォーマンス！本当に嬉しいオイルです。

★**少量入荷ワイン** ご注文締切**～6/15(木) 12:00 ※締め切り後リクエスト数が上回った場合、数量を調整させていただきます。**

**6/16(金)** 頃より出荷 **※分散出荷を行うため、納品日指定に合わせられない場合があります。**

**Colle San Massimo**  コッレ サン マッシモ  アブルッツォーテラーモージュリアノーヴァ

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ワイン名 | ヴィンテージ | 種類 | 容量 | 上代（税別） | メモ |
| **★Meno Rosso**メーノ ロッソ**≪新ヴィンテージ≫ 500本** | **2021** | ロゼ | **750ｍ**ｌ | **￥3,300** | モンテプルチアーノ100％、樹齢40～50年。粘土質土壌。収穫後、除梗し果皮と共に約半日、野生酵母による醗酵を促す。最後に残ったヴィナッチャを、強い圧力で絞り切り、強く色素が出たモストも一部加える事で、果実味だけではない奥行きや複雑さ持つという考え。その後セメントタンクにて10か月の熟成。チェラスオーロという考えで造られたロゼ。天候に恵まれた2021、果実の熟度だけでなく酸も非常に高く、バランスが取れたヴィンテージ。今まで通りの魅力あふれる飲み心地に、今まで感じ得なかった土地の持つ尊大さ、奥行きや骨格を感じる、まさにチェラスオーロと呼べる味わい。現時点でも十分魅力的ですが、熟成の魅力も安易に想像できる素晴らしい味わいです。 |
| **★Rosso**ロッソ**≪新ヴィンテージ≫ 500本** | **2020** | 赤 | **750ｍ**ｌ | **￥3,800** | モンテプルチアーノ100％、樹齢40～50年。粘土質土壌。収穫後、果皮と共に約1週間、野生酵母による醗酵を促す。圧搾後、セメントタンクにて12カ月、ボトル詰め後12カ月の熟成。天候に恵まれた2020、豊かな果実と成熟した酸、そして濃密でありながら全く重さを感じない素晴らしい飲み心地。これほどスムーズで飽きの来ない赤ワインは、他で飲んだことがありません。日常のテーブルにいつも置いておきたい、そう思わされる赤です。 |

**Le Coste**レ コステ ラツィオーヴィテルボーグラードリ

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ワイン名 | ヴィンテージ | 種類 | 容量 | 上代（税別） | メモ |
| **Bianco** ビアンコ≪新ヴィンテージ≫  | **21** | 白 | **750ｍ**ｌ | **\5,300** | プロカーニコ70％、マルヴァジーア ディ カンデイア、ヴェルメンティーノ、他。樹齢10～40年。収穫後、果皮と共に2週間、圧搾後も大樽の中で醗酵、そのまま12か月、ボトル詰め後6か月の熟成。完熟した果皮の香りはあるものの、決して固いと感じるわけではない、いつも以上の飲み心地。特に21は醸造的なニュアンスよりも、果実的な香りや味わいを強く感じます。ワイン全体に感じる清潔さ、最近のビアンコのクオリティには本当に驚かされてばかりですが、本当に複雑さと繊細さを持ち合わせたビアンコ。 |
| **1500ｍｌ****★60本** | **\13,000** |
| ★**SOS Lago Bianco**エスオーエスラーゴ ビアンコ≪新ヴィンテージ≫ **300**本 | **20** | 白 | **750ｍ**ｌ | **\6,300** | モスカート ジャッロ100％、樹齢15年程度。ボルセーナ湖畔、発電所開発の進む地域、モンテフィアスコーネのブドウを引き取り醸造したワイン。直接プレスし、果汁のみの状態で約1か月間、オリと共に醗酵を行う。その後6か月の熟成。地熱発電所の建設反対運動に協力するために生まれたワイン。**※売上の一部は活動費用として寄付されています。** |
| **Rosso di Gaetano**ロッソ ディ ガエターノ≪新ヴィンテージ≫ | **21** | 赤 | **750ｍ**ｌ | **\3,400** | サンジョヴェーゼ50％、シラー、メルロー。樹齢20～30年。収穫後、果皮と共に3週間、野生酵母と共に醗酵。圧搾後大樽にて6カ月、ボトル詰め後6カ月以上の熟成。天候に恵まれた2021、素晴らしい骨格とフレッシュさ、果実味を持ち力強くも心地よさを忘れない、魅力的なヴィンテージとなっております。 |
| ★**Fagioli del Purgatorio** ファジョーリ デル プルガトーリオ≪再入荷≫ **150PC** | **-** | 乾燥白いんげん豆 | **1000g** | **￥3,800** | 白いんげん豆（Fagiolo Purgatorio種）、新しく耕作したレ コステの畑、ブドウ栽培と変わらないフィロソフィの元、栽培、手作業で収穫。天日にて長期間乾燥。**1000(1ケース/12PC) ワインと混載可****賞味期限：2024年7月**長時間の浸水が必要ないヴィテルボ県、グラードリの伝統品種です。 水、又はぬるま湯にセロリ、ニンジン、タマネギなどの香味野菜を加え、 塩をせず弱火で60分ほど下茹で、最後に塩で味を調えてください。皮が薄く粒の小さい品種で調理しやすく、繊細な味わいが特徴。 |
| ★**Farina integrale di** **grano tenero Verna**ファリーナ インテグラーレ ディ グラーノ テネーロ ヴェルナ≪新アイテム≫ **120PC** | **-** | 小麦粉 | **1000g** | **￥1,500** | 全粒粉（石臼挽き）、レ コステのブドウ栽培と同じ哲学で栽培されたトスカーナの古代小麦（ヴェルナ種）を自社畑で栽培。伝統的な製粉所ムリーノ ヴァルドルチャ（トスカーナ） にて石臼挽きで製粉。**(1ケース/12PC) ワインと混載可****賞味期限：2024年1月31日** |

**Podere Luisa**ポデーレ ルイーザ トスカーナーアレッツォーモンテヴァルキ

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ワイン名 | ヴィンテージ | 種類 | 容量 | 上代（税別） | メモ |
| **“Pensiero” IGT**ペンスィエロ ≪新ヴィンテージ＆再入荷≫  | **2021** | 赤 | **750ｍ**ｌ | **￥2,400** | サンジョヴェーゼ主体、樹齢10～20年前後の畑。収穫後、除梗せず果皮と共に4週間、緩やかに醗酵が進む。圧搾後そのままセメントタンクにて12か月の熟成。地元のレストランや個人向けのスフーゾ（量り売り）でしたが、コロナウィルスにより、地元消費が停止したことから生まれた、気兼ねなく飲めるテーブルワイン。**BIBは　１ケース＝6pcでの出荷 （混載可）。** |
| **2020** | 赤 | **3000ｍｌ****≪BIB≫** | **￥5,200** |
| **Chianti DOCG****キァンティ** ≪新ヴィンテージ≫ | **2020** | 赤 | **750ｍ**ｌ | **￥2,900** | サンジョヴェーゼ、カナイオーロ、コロリーノ、トレッビアーノ トスカーノ、樹齢45年～。収穫後、セメントタンクにて3週間の全房醗酵、野生酵母にて醗酵。圧搾後、大樽にて24か月熟成。昔のキァンティの醸造方法と同じ、除梗せずに醗酵を行う。そのために果実の熟成だけでなく、果梗まで完熟するのを待ってから収穫するという、ストイックすぎるこだわりで造られるルイーザのキァンティ。 |
| **Castelperso IGT**カステルペルソ≪新ヴィンテージ≫ | **2018** | 赤 | **750ｍ**ｌ | **￥3,800** | サンジョヴェーゼ、カナイオーロ、コロリーノ樹齢70年。収穫後、除梗せずにセメントタンクにて3週間、果皮と共に醗酵。古バリックにて24か月、ボトル詰め後12か月の熟成。キァンティとほぼ同じセパージュであり、熟成容器に小樽を用いたという違い。ブドウの質の高さ、そして熟成で生まれる表情の違い、キァンティにはない柔らか味や質感をもったワイン。 |
| **EXV Olive Oil**エスクトラ　ヴァージン　オリーヴオイル≪新ヴィンテージ≫ | **2022** | オイル | **500ml** | **￥3,500** | ペンドリーノ、モライオーロ、フィオレンティーノ、樹齢30～40年。収穫は11月頃から行い、すべて手摘み。搾油量の少ない酸度の素晴らしいオリーヴオイル。2022年は5月～9月まで全く雨が降らず、オリーヴのみが乾燥してしまうほど。21年に続き収穫量が激減したヴィンテージ。オイルの質は素晴らしいですが、量が少ないのが非常に残念です、、、。**（酸度0.3%）****※500ml・1000mlどちらも750mlビンと混載可能** |
| **1000ml** | **￥5,600** |

**Fanetti**ファネッティ ※一部先行出荷 **6/5より** トスカーナーシエナーモンテプルチアーノ

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ワイン名 | ヴィンテージ | 種類 | 容量 | 上代（税別） | メモ |
| **Bianco S’Agnese**ビアンコ サンタニェーゼ≪新ロット ・ 価格変更≫**※6/5～** | **(22)** | 白 | **750ｍ**ｌ | **￥2,300** | トレッビアーノ　トスカーノ、マルヴァジーア　ビアンカ、樹齢30～40年。収穫後、約１日のマセレーション（果皮浸漬）、野生酵母による醗酵を促す。圧搾後大型のセメントタンクにて醗酵、途中オリ引きを行いそのまま12か月の熟成。50年以上全く変わらない手法のトスカーナビアンコ。時代や流行が目まぐるしく変わる中で、変わらずに存在し続けるファネッティのテーブルワイン。 |
| **Rosso Fanetti**ロッソ ファネッティ≪新ロット ・ 価格変更≫**※6/5～** | **(20)** | 赤 | **750ｍ**ｌ | **￥2,000** | サンジョヴェーゼ主体、カナイオーロ、マルヴァジーア、トレッビアーノ、樹齢30年。収穫後、大型のセメントタンクにて約２週間のマセレーション。野生酵母による醗酵を促す。その後オリ引きを行い、使い込んだ大樽（30hl）にて２４か月の熟成。ノンフィルターにてボトル詰め。地域の伝統として、白ブドウも合わせて醸造される、トスカーナの日常的ワイン。 |
| **EXV Olive Oil**エスクトラ　ヴァージン　オリーヴオイル≪新アイテム≫ | **2022** | オイル | **250ml** | **￥1,800** | レッチーノ40％、モライオーロ40％、フラントイオ20％、樹齢30～40年。実はワイン造りだけでなく、オリーヴの栽培・オイルも作り続けてきたファネッティ。収穫は11月下旬より、すべて手摘みで1本の樹からの搾油量がとても少ない。2022年は水不足&乾燥の影響で収穫量が激減したものの、対照的にオイルの質が素晴らしいヴィンテージ。レッチーノ種のスパイスのニュアンスにモライオーロの力強さ、フラントイオの辛味と、食事とのバランス感を考えたブレンドは、地元ではワイン以上に評判というオリーヴオイル。**（酸度0.21%） ※ワインと混載可** |
| **500ｍｌ** | **￥2,900** |
| **Bianco “Betty”**ビアンコ “ベッティ” | **(12)** | 白 | **750ｍ**ｌ | **\2,500** | トレッビアーノ トスカーノ、マルヴァジーア ビアンカ主体、リースリング、樹齢30年～。樹齢の古い区画より収穫、ビアンコ サンタニェーゼとして醸造を行ったものの、ボトル詰めされることなく、セメントタンクにて約10年の熟成。2022年春にボトル詰め。収穫量に恵まれた2012年だけにおきた珍事ではありますが、ブドウの質が良かった分熟成にも耐えました。忘れられていたとは思えない素晴らしい表情と飲み心地を合わせもったビアンコ。 |
| **Vino Nobile di Montepulciano Riserva** ヴィーノ ノービレ ディ モンテプルチアーノ リゼルヴァ  | **2015** | 赤 | **750ｍ**ｌ | **￥3,600** | プルニョーロ、カナイオーロ、マンモーロ。収穫後、果皮と共に２週間、野生酵母による醗酵を促す。圧搾後、大樽（20～30hl）にて48か月の熟成。現行のDOCG規定ではなく、1915年に彼女の祖父であるアダモ ファネッティが定めたヴィーノ ノービレの醸造方法、期間を忠実に守っているため、現在では彼らの造るすべてのノービレがリゼルヴァとなってしまうという矛盾が生じています。変わらないことに徹底的にこだわった、正に「モンテプルチアーノの高貴なワイン」です。 |
| **Santo** サント | **―** | 白甘 | **375ｍ**ｌ | **￥8,500** | トレッビアーノ トスカーノ、マルヴァジーア ビアンカ。樹齢30年前後。1996年の収穫より、現当主エリザベッタの父、ジュゼッペ ファネッティが醸造。この年に故エリザベス2世に贈呈した際に、記念として造られたエチケッタを復元。収穫後、約3か月陰干しを行い圧搾。カラテッリ（５０～１００Lの小型の木樽）に移し、完全に密封。2階の倉庫にて醗酵が完全に終わるまで最低でも10年以上を費やして造られる「聖なるワイン」。カンティーナで保管していたカラテッリより、2022年にボトル詰め。DOCを取っていないが、ヴィンサントとしての本質を完璧に表現した、本物のヴィンサント。 |

**èVino エヴィーノ**　 〒330-0064　さいたま市浦和区岸町4－11－11 TEL：048-799-3678 Mail：info@evino33.com